

日本版MaaSの推進

国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課

課長補佐 栗井勇貴

令和5年8月29日

地域公共交通の「リ・デザイン」

- 地域公共交通の需要の減少は、交通事業者の経営努力のみでは避けられないものであるため、自動運転やMaaSなどデジタル技術を実装する「**交通DX**」、車両電動化や再エネ地産地消など「**交通GX**」、①**官民共創**、②**交通事業者間共創**、③**他分野共創**の「**3つの共創**」、すなわち、地域の関係者の**連携と協働**を通じて、**利便性・持続可能性・生産性**を高め、**地域公共交通の「リ・デザイン」**(再構築)を進める。

交通DX

自動運転

地方公共団体が地域づくりの一環として行うバスサービスについて、実証事業を支援



▲茨城県境町の自動運転バスの運行

MaaS

交通事業者等の連携高度化を後押しするデータ連携基盤の具体化・構築・普及を推進



交通GX

交通のコスト削減・地域のCN化

車両電動化と効率的な運行管理・エネルギーマネジメント等の導入を一体的に推進



3つの共創

官民の共創

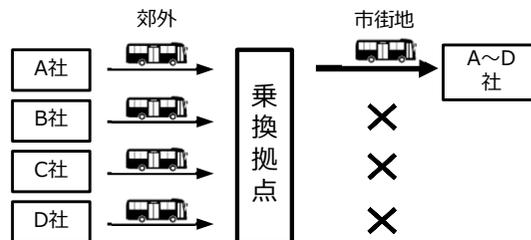
一定のエリアにおいて、地域でサービス水準を決定し、事業者が複数路線を一括して長期間運行

交通手段が重複 ▶ ネットワークの統合 ▶ エリア一括協定運行



交通事業者間の共創

複数の交通事業者が共同経営を行うことにより、垣根を越えたサービスを展開



他分野を含めた共創

地域交通と、様々な他分野との垣根を越えた事業連携を実現



「リ・デザイン」に資する新たなモビリティサービス

- 全国各地で課題解決のためのMaaS (Mobility as a Service) の取組みが進展。宿泊や観光、医療、福祉、教育分野等との連携により、移動手段・サービスが高付加価値化。
- 各地域において多様化している移動ニーズにきめ細やかに対応するためには、様々な特性を持つ新型輸送サービスの推進・普及が不可欠。
- 交通分野における移動関連データ等の分析・活用により、交通と一体となったまちづくりやインフラ整備が期待。

新たなモビリティサービス



新型輸送サービス

AIオンデマンド交通



- 都市部の交通空白地域や、多様で不確実な移動ニーズがある観光地での活用が期待



グリーン スローモビリティ

- 高齢化が進む地方部や観光地での活用が期待

超小型モビリティ



- 狭い路地の多い大都市の密集地域や観光地の移動に適合

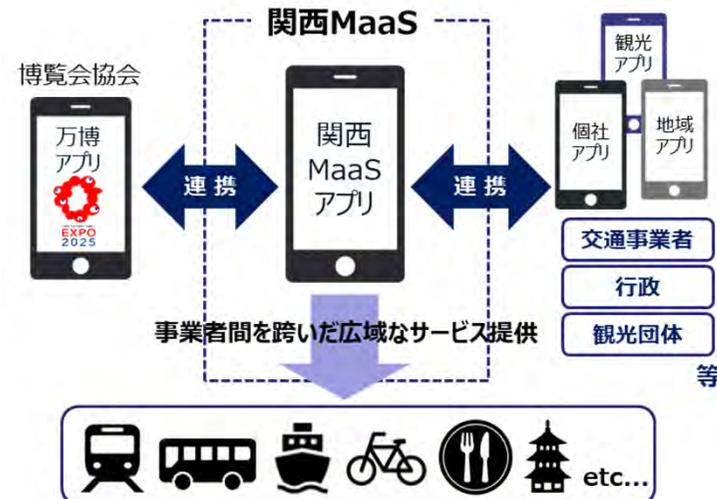
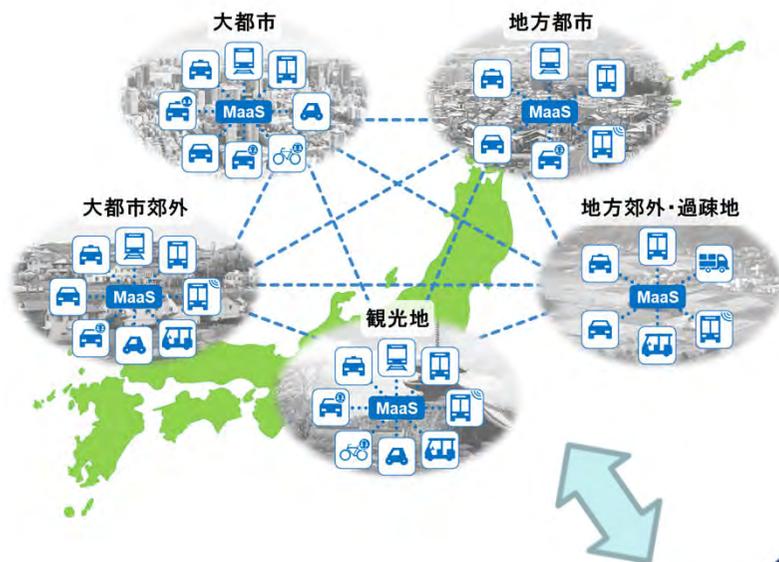


自動運転

- 近年急速に進む運転者不足への対応として、自動運転の活用が期待

日本版MaaSの進展

- 都市と地方、高齢者・障がい者等を含む**全ての地域、全ての人が新たなモビリティサービスを利用できる**仕組みとして、「**日本版MaaS**」の取組みが進展。
- 移動の利便性向上や交通以外のサービスとの一体化による移動需要の創出により、地域公共交通の維持・活性化など、**地域が抱える課題の解決に貢献**。



三重県菰野町の取組み

菰野町の公共交通は**鉄道**（近鉄湯の山線）、三重交通**路線バス**、尾高**タクシー**、御在所**ロープウェイ**、町が運行している**コミュニティバス**と**のりあいタクシー**がある。これら町内の**様々な公共交通**を使って町内のおでかけを便利にするために、**菰野町MaaS「おでかけこもの」**が活用されている。



近畿日本鉄道
（経路検索・特急列車予約）



菰野町コミュニティバス「かもしか号」
（経路検索・バスロケーションシステム
・車内混雑度表示）



三重交通 路線バス・高速バス
（経路検索・バスロケーションシステム）



AIオンデマンド乗合交通「菰野町のりあい
タクシー」（経路検索・配車予約・事前決済）



尾高タクシー〔有限会社尾高〕
タクシー予約



eモビリティ「菰ビリティ」
菰野町観光協会が運営する貸し出し
電動自転車等の予約・決済



御在所ロープウェイ
（運行状況案内・情報提供）

